

主な対象
高2・高3生

医学部志望におすすめ、「自然科学」と英語と一緒に学ぶ！

「英語と学ぶ自然科学」 ■開講期間：8月11日(月・祝)～15日(金) 13:00～16:00

■講師：佐久間 海帆・石本 蓮

■全5回 1回の授業時間：3時間(全15時間)

英文を読んでいて、文自体の意味は分かっていても内容がよく分からないということはありますか？高校生の皆さんが大学レベルの学問書を読んでもイマイチよく分からないように、英文もそのトピックについてある程度知識が無ければきちんと理解することができません。本講義は、実際の入試問題に取り組みつつその背景知識を学ぶことで、発展的な内容の問題にも余裕を持って対応出来る土台を築くことを目標としています。事実、大学入試で扱われる英文の4割程度が本講義で取り上げる「自然科学」に関する内容です。学部によって問題に差異のない国公立志望、発展的な内容の多い私大志望、自然科学分野の出題が多い医学部志望など、受験勉強に精一杯で幅広い知識を吸収する暇のない全受験生の方に自信を持っておすすめします。

受講料(15時間、テキスト・資料代込)：29,700円(税込) 内部生：24,750円(税込)

■講義内容

「脳科学」「医療」「自然と人間の相互作用」といった受験生に必須なテーマを入試問題から抜粋して演習・添削します。



石本講師

■授業の進め方について

演習40分
問題解説80分：石本講師
背景説明50分：佐久間講師
1日1トピック扱います。



佐久間講師

対象
全学年

生物進化の歴史を学び、受講生同士でゲーム！

「進化ゲーム理論入門」 ■開講期間：8月11日(月・祝)～15日(金) 8:00～10:00

■講師：佐久間 海帆・升野 優

■全5回 1回の授業時間：2時間(全10時間)



升野講師



佐久間講師

受講料(10時間、テキスト・資料代込)：

19,800円(税込) 内部生：16,500円(税込)

現在地球上には既知の生き物だけでも約200万種が知られています。ですが歴史を遡ってみるとこの世に存在するありとあらゆる生き物はたったひとつの生命体から始まりました。そして、約38億年という生命の歴史の中で90%以上の生き物が誕生し、絶滅したと考えられています。生物進化とはつまり勝者と敗者の歴史ですが、生き物たちの駆け引きは古典的なゲーム理論を応用することで数理的に扱うことができます。1970年代に提唱された進化ゲーム理論は、まず動物行動学の分野で大きな成果をあげましたが、進化ゲーム理論が古典的ゲーム理論とは異なる特徴をもつために、その後、政治学や経済学、社会学にも応用がされています。本講座ではまず生物進化のプロセスを説明し、続いて、実際に簡単なゲームを行うことで生物進化に数理的な観点を導入します。最終的には、進化ゲーム理論の理解をもって諸社会科学の問題も深く理解できるようになることを期待します。

※本講義は受講生同士でゲームやディスカッションを行う予定です。

主な対象
高2・高3生

冬学期(9～12月)も無料で小論文の添削が受けられます！

※但し、講習会員は自習室会員登録の必要があります。

「推薦・医学部入試のための小論文実践講座」 ■開講期間：8月4日(月)～8日(金) 17:40～19:40

■講師：橋本 竜一郎 ■全5回 1回の授業時間：2時間(全10時間)

■第1講 小論文入門 ■第2講 長文要約の方法 ■第3講 生命倫理

■第4講 地域医療と医師不足 ■第5講 現代の諸問題



受講料(10時間、テキスト・資料代込)：

19,800円(税込) 内部生：16,500円(税込)

小論文は、「自分の言いたいことを述べる」場です。では、なぜある事柄を(わざわざ)言いたくなるのでしょうか。それは、そうでない意見があるからです。自分と異なる意見の人が想定され、その人に向けてその人と異なる自分の主張を展開すること。これが小論文を書くということの基本です。つまり、小論文とは、「自分と異なる他者と対立する」場に他ならないのです。自分と異なる意見をもつ他者を納得させるための、最も厳密な方法が「論証」と呼ばれるものです。そして、論証の規則であり、かつ論証の技術であるところのものが、「論理」と呼ばれるものです。本講座では、他者と議論し、他者に向けて論証するための、「論理」の基礎をトレーニングします。また、テーマ別添削演習において、小論文入試頻出のテーマについて実際に小論文を書いてもらい、論理を応用し、議論と論証を実践してもらいます。

※医学部向けの講義を基本としていますが、参加者の志望・興味によって、各回のテーマを柔軟に変更します。そのため、推薦入試を志望している文系の方、志望校が定まっていない方も受講することができます。